ユーザー各位

2026年10月22日
株式会社PR TIMES

PHPの脆弱性への対応完了のお知らせ

平素よりPR TIMESをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
2026年10月21日に、プログラミング言語「PHP」の脆弱性（CVE-2026-109618／CVE-2026-109619）に関する情報が公表されました。弊社サービスでもPHPを利用しており、本脆弱性への対応を進めてまいりましたが、修正を完了しましたことをご報告いたします。

「PR TIMES」「PR TIMES STORY」「PR TIMES Webクリッピング」すべての提供サービスにて修正が完了しており、各サービスは通常通りにご利用いただける状態です。
なお、現時点で本脆弱性に起因する不正アクセスや情報漏えいは確認されておりません。

実施いたしました対応を下記のとおりご報告いたします。

記

1　対応状況
・不正な通信を遮断する仕組みの強化
The PHP Group（PHPの提供元）より脆弱性が公表された時点で、サイトへの不正なアクセスを遮断する仕組み（WAF）を設定し、今回の脆弱性を狙った攻撃を受け付けないように対策を進めておりました。
・修正版への切り替え
その後、The PHP Group（PHPの提供元）からの修正プログラム（パッチ）の公開を受け、修正済みのPHPへ切り替えを行いました。

2　ご利用環境への影響
現時点で、本脆弱性によるお客様のご利用環境への影響は確認されておりません。
すべての提供サービスで修正が完了しており、メンテナンス等によるサービスの停止は予定しておりません。今後、お知らせすべき事項が生じた場合は、速やかにご報告いたします。

3　外部メディアの対応に伴う影響
今回の脆弱性への対応として、一部のメディアでは、サイトを一時的に非公開にするなどの対応が行われているため、以下の機能に影響をおよぼす可能性があります。取得への影響は、各メディアの対応状況によって変わります。今後の状況を注視し、必要に応じて対応を検討してまいります。

・「PR TIMES Webクリッピング」におけるメディア掲載記事の取得
・パートナーメディアへの掲載実績の取得と分析データ上での表示

ユーザーの皆様にご心配をおかけし大変申し訳ございません。
本件についてご不明な点等がございましたら、下記のフォームよりお気軽にお問い合わせください。

▼PR TIMES サポート&サクセスデスク
https://tayori.com/f/prtimes-inquiries-from-companies/

今後も、皆様に安心して「PR TIMES」をご利用いただけるよう、引き続きセキュリティ強化のための対応を継続してまいります。

PR TIMES：https://prtimes.jp/

以上